



こしみず

今後どのような取り組みで町を守るかということのほか、非常に広い問題でありますし、賛否にお答えされることはどちらもせんが、一つひとつの解決していくかが何を得なじむのと思つております。

問
防災の面から見た町づくりについて
所見を伺います。

近年、自然災害の危険性が増し、大雨や強風により、洪水や空き家等に被害がでていますが、今後の防災に関する町づくりについて、

答　て迅速な対応をお願いしたことと思つますが、町長の所見を伺います。

私の基本的な考え方としては、国の施策、新しい施策については農業者が取り組むとの意思があれば積極的に取り組んでまいりたいと思つます。

また、土づくりが基本であると思つておりますので、基盤整備につつても積極的に取り組み、オホーツク町村会や活性化期成会等を通じて引き続き要望することとは數々にござつたこと思ひます。

ふるさと納税寄附金について

新たな取り組みとして、謝礼品の拡充や、インターネット等を通じて小清水町の魅力を積極的に発信していくとしておりますが、どれくらいの金額で謝礼品を想定しているか、また、ふるさと納税寄附金をどの程度想定してい

君のか信じま。

近年、ふるさと納税における各自治体の返礼品が全国的に過剰になつてゐると報道されておりますが、私は、小清水町で生産されてゐる物を、いただいた金額のおおよそ半額程度お返ししたところへおり、商工会を通じて広く町内業者に返礼品の取り扱いをして欲しこうとのことで、自分でしてまいりたいと想えており、福太郎北陽工場・マルイ水産・Aコーポレーション・手織りの会の4社から手を挙げていただいております。本当にありがとうございました

声があり、廃屋についても町の方針があまり進んでこないようになつてゐるのではないか。

「それでこのへんは、前進的な検討をしたいたいわけではなく、あた、ある要素があるから尋ねします。

うじた返礼品でスター！、順次また希望者がいれば増やしていくたとておひま。

一六〇〇万円程予算計上してお
りますが、あくまで寄附金であります
ので、沢山あるかも知れないと
し、少ないかも分からせんが、
広く本町の人にをつてもらつた
ことありますね。ああ。

平成26年度第10回定例会に於ける
本制度を活用したの施設

はなじとらの答弁でしたので、転換があつたように思ふが、それが、町長の所見を伺つまつ。

また、ふるわむと納税をどうのうかの方事業に有効活用してどうのか方針を示すべきだと勧えますが、町長の所見を伺つまつ。

答
具体的に申しますと、町独自で取り組んでも、なかなかうまくいかないといふ事で、ヤマト運輸から色々な提案がありまして、検討した結果、「ほがじゅ」だけではなくて、方針を変えました。

「他の物語にしても返礼品をしながら、ふねわと納税を少しじただりのかと云ひゆうにしたしまつ

また、具体的な施策につきましては、今年が本格的に取り扱う1年目ですから、順次検討してまいりたゞと思つております。

提供について

問 植林、植林後の除間伐等整備事業を含め、町民の方々が町有林の理解を深めるための施策を練つていただきたく思いますので所見を伺います。

今後における商工業の 振興策について

今後における
表記規制

問 振興策について

近年、商工会及びふれあいセンターと連携を図り、色々な事業に取り組んでいただけておりますが、今後も途切れることなく、次の振興策へと繋げていただきたいと思いますが、町長の所見を伺います。

答 今、駅座にいひつたいとをや
りまかとせなつせんが、こずれ
にしましても商業の振興なくし
て小清水町の発展はないわけで

問 介護保険での「デイサービス」は ルパーなどは、町による事業へ

問
介護保険

ルパーなどは、町による事業へと
変わりますが、平成29年度より実
施予定である、介護予防生活支援
事業における総合的な支援の内
容について伺ります。

一人で生活できなく、じゅんなん福祉の支援をいたしかないと自活していく力などとどう方々のために、まずはスタッフを充実させてつきたいと考えており、やつらったことから、専門分野の社会福祉士の